

ローグロー

ペレニアルライグラス

低成長型ペレニアルライグラス

低成長型のローグロー

ローグローは低成長でわい性のニュータイプのペレニアルライグラスで芝刈り頻度を軽減いたします。濃緑色で細葉のきめ細かい芝で低成長型、密度の高い、しかも発芽もターフ形成も短期間で仕上がるローグローは、美しい芝を必要とするところにうってつけです。

ローグローの長い開発

ヨーロッパで LEX86 として知られているローグローはピックシードウェスト社においてジェリーペピン博士によって開発されました。この開発はまさに何世代にもわたる再選抜とハイブリッド化の長期間の育種の結果なのです。そもそもの育種の目的は、他の品種に比べて刈り込みの頻度を低減できるエリートタイプのペレニアルライグラスを造ることにありました。ローグローはアメリカで育種されヨーロッパで No.1 になった最初のライグラスで、現在でもトップランキングを維持しております。

ローグローは成長が遅い

ローグローは、成長が他の品種に比べて遅いので成長の早くない方が良い芝地に向いております。ローグローはターフになる期間は短くしかもターフ成立後成長が遅いので、ラフや刈り込みのしにくい地域、ハウス回りなどの擦り切れ等の問題がないところにはうってつけです。

また、オーバーシード用のライグラスとして、成長が緩慢なため、ベースの芝を痛めにくくまた、刈り込みの頻度を下げることができます。

ローグローは成長が遅いのでブルーグラスやフェスクなどの混合に最適です。

ローグローは高く低い

ローグローはリーフスポットやあらゆるタイプのさび病に対して優れた抵抗性があります。ピシウムとブラウンパッチに対しては適度な抵抗性を示します。ローグローは冬場の低温抵抗性と同時に夏場の抵抗性も優れております。耐病性やストレスへの抵抗性を気候条件や管理条件を越えて最大限に引き出すには、一般的にローグローとアメリカ(ケンタッキーブルグラス)、MIC-18(トールフェスク)

などと重量比で1 : 1 : 1になるような混合が良いでしょう。この様な混合は日向にも日影にもまた、施肥量を高くしても低くしても問題ありません。

ローグローは種が多い

ローグローはg当たり約700粒あり、早くターフにすることができます。発芽に要する期間は気候条件が良ければ5～7日で発芽いたします。ケンタッキーブルーグラスやフェスクと混合するときは20～30gが適当です。

ローグローは、芝刈りが少なくてすみませ

ローグローは省芝刈り用芝として開発されました。もし刈込なしで管理いたしますと草丈は、晩春の出穂時期を除けば30cm以下となります。推奨するローグローの刈高は12～50mmです。もちろんオーバーシード用としてグリーンに使用するときには、3.5mmでも刈り込めます。ヘビーラフや法面などのローメンテナンスエリアに使用するときには、フェスク系統のスパルタンなどを混合して使用することをお勧めいたします。その場合年に2回晩春と秋に刈り込むと良いでしょう。スポーツターフとして使用する場合は、2.5～3.5gの窒素成分をm²あたりに成長月に施肥することをお勧めいたします。